

Joseph Sebastian Bach

From **Ukraine** to **Japan**

Siedovolosi Roman

Violin Partita No. 2 in D moll,
«Chaconne»
BWV 1004

Concerto No. 2
for Violin and Strings (E major)
BWV 1042

May (Satsuki Uchida)

Matthäus-Passion
Erbarme dich, mein Gott
BWV244

Horbulova Oleksandra

Concerto for two violin
and orchestra, D moll
BWV 1043

高崎芸術劇場 音楽ホール

〒370-0841 群馬県高崎市栄町9-1

2025.02.01(sat)

開演 14:00 開場 13:30

Takasaki City Theatre, Concert Hall
Sakae-cho 9-1, Takasaki-shi, Gunma Pref. JPN

全席指定 3,000円/人 75,000円 (税込)

チケットのお求めはこちらへ

主催：さくら-ロマン事務所/Sakura-Roman Office
070-4137-0894(+81-70-4137-0894)
日本語/英語/ウクライナ語/ロシア語

WEB

■高崎芸術劇場メンバーズ (登録無料)
<https://takasaki-foundation.or.jp/theatre/>
電話

■高崎芸術劇場チケットセンター
TEL: 027-321-3900 (10:00-18:00)

窓口

■高崎芸術劇場チケットカウンター
ほか高崎市施設プレイガイド



令和6年11月3日発売開始

Roman Siedovolosiy ロマン・セオドボロジ

ロマンは5歳からヴァイオリンを学ぶ。幼少から音楽の才能を見せ周囲を驚かせた。6歳でハリコフ中等特殊音楽学校に入学。ヴァイオリンの習得に明け暮れ、毎日の練習が実を結び、2001年、11歳でハリコフ国立交響楽団でフェリックス・メンデルスゾーンのアヴァンソール協奏曲短調を演奏した。2003年、ウクライナのフェオドシヤで開催された国際ヴァイオリンコンクール「アイヴァゾフスキーを訪ねて」でグランプリ受賞。2005年、キーウ・ヴォールツェル開催：国際ヴァイオリンコンクールにて「21世紀の芸術」受賞。2006年、チェコ共和国クロムニェジーシュ開催：国際ヴァイオリンコンクールにてグランプリ受賞。2006~2007年、ウクライナ、ハリコフ開催：国際フェスティバル「音楽は私たちの共通の家」にて第一位を受賞。ハリコフ・フィルハーモニー交響楽団でジャン・シベリウス作曲のヴァイオリン協奏曲（二短調）を演奏。2007年、米国防務省財団の後援のもと、ウクライナのオデッサ開催：青年国際コンクールにてグランプリ受賞。2008年、青年国際コンペティション「ハリコフアンサンブル」にてグランプリ受賞。2008年、コトリアレフスキーハリコフ国立芸術大学で、オーケストラ弦楽器学部とポップ&ジャズ学部（声楽クラス）の音楽修士課程に入り無事修士号を取得後、クラシック音楽学部にて研鑽する。同大学にてヴァイオリン科の修士号を取得し、コンサート奏者、オーケストラ奏者、室内楽アンサンブル、および教職の資格を取得。2013年2月、ハリコフ国立アカデミック・オペラ・バレエ劇場のオーケストラのオーディションを受け、オーケストラ・アーティストとして就職。すでに2015年に、カテゴリーをコンサートマスターに昇級させている。ソリストとして、劇場のコンサート公演やオペラ「オペラ座の夜」、オペラ「地獄のオルフェウス」などにソリストとして出演。2022年からロマンと家族は日本に移住し、音楽の作曲活動と演奏している。めぐろパーシモンホールでの自身のプロジェクト「ヴァイオリン、バレエ、弦楽四重奏」（2023年）とウクライナの夜」（2024年）など、さまざまなコンサートを意欲的に開催している。



May 内田さつき



3歳よりピアノ、チェンバロを始め上野学園音楽大学附属中学、高校を経て、オーストリア、ドイツへ留学。長きに渡りK. Cyprien, D. Stein, H. Stefańska他師事。ヨーロッパ各国においてMaster Classやレッスンを受講し研鑽を積む。Universität für Musik und darstellende Kunst Wien等海外でのSummer Academyを開催。ソロ・アンサンブル等国内外で幅広い演奏活動している。近年ソロだけではなくPianoDuo【May&Yuta】としてクラシックを中心に多くのジャンルに触れ、お客様を巻き込むクラシックが人気を博している。After Schoolやメディアで分け隔てのない稀有な音楽環境を演出しBack playを披露。コンクール審査員の傍ら低年齢層から国内外での後進の育成に務め、知情意の音楽教育を精力的に行い、各地のメディア等にも出演。2020年、一般社団法人Art&Scienceシンフォニー協会を立ち上げ、積極的なチャリティー活動を行い、現在代表理事を務める。ウィーン国立音楽大学、東京芸術劇場、Bösendorfer Salon(Wien)等でコンツェルトやソロでの出演の他、世界平和音楽活動の一環で2023年、白寿ホール、広島平和記念公園にて平和の祈りコンサートに出演。難民音楽家の支援活動も同時に行なっている。また故坂本龍一氏の創立した森林保全団体more trees、被災地支援、マジーズ東京、小児癌、日本工芸会…様々なチャリティーコンサートに出演。2024年Senegalのゴレ島にて平和の祈りコンサート、Dakarでは海上自衛隊寄港により大使公邸でのコンサート、ソノ国立劇場にて現地楽器奏者とのセッションコンサートに出演。

【歴史が深く戦争は中々無くなる事は難しいですが、武器を持つ兵士がいつか楽器を持ち歌を歌い、音楽の持つ力を最大限に活かし、世界中の笑顔と平和の為に音楽を通して活動を続けたい!!】と、今後もチャリティー活動に積極的である。2025年のPeaceDay (9/21) には大阪万博での出演が決まっている。

25歳

バイオリニスト
ウクライナのムィコライウ出身。音楽学校で8歳からヴァイオリンを始め、2013年より大人と子供にヴァイオリンを教え始める。イッポリトヴァ=イヴァノヴァにちなんで名付けられた州立音楽教育大学に在学中
第19回国際音楽芸術コンクール GUIDING STAR 1位受賞（タリン=ストックホルム=ヘルシンキ2019年）
第4回文化祭に参加
子ども向けの「オースターン・クラシック」を室内オーケストラ「メロディカ」の一員として演奏し、「毛皮クラシック音楽と文化」協会から高く評価された「キンダー」、ハンブルク（ドイツ）、2019
2021年技能五輪予選選手権部門：学校音楽教育部門で1位。
第3回 IBLA GRAND AWARD Japan 2023 二次審査通過
2019年~2021年アマチュアオーケストラ「Art Nova」にゲスト演奏
ロシアのウクライナ侵攻後、2022年7月中旬に来日。現在、ウクライナの伝統音楽とクラシック音楽を演奏し、紹介している。
パフォーマンス：
- 群馬県近代美術館でのコンサート
- 第36回高崎映画祭出演
- 群馬県ロータリー・ライオンズクラブ主催の公演・コンサート
- 富岡市と高崎市の仏教寺院によるウクライナ平和のためのパフォーマンス
- ボランティア団体ハンズオン東京主催コンサート in 東京アメリカンクラブ
- ウクライナ国軍記念日のためのポーランド大使館でのコンサート
- 在日本大韓国民団（民団）のためのコンサート
- 横浜コンサート「SMILE FOR TOMORROW AND PEACE IN UKRAINE」
- 群馬県近代美術館でのコンサート
- 福島2023「ウィーナを歩く〜平和と心の団結への祈り〜」後援：ウクライナ大使館
- 目黒パーシモンホールのコンサート「ウクライナの夕べ」2024
- 高崎市役所のコンサート 2024



Horbulova Oleksandra オレクサンドラ・ホルブロア

